

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年3月27日

事業所名:子ども発達さぽーとセンターあゆみ園

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		基準は満たしているものの、十分なスペースとは思えないため、できる限り園外の活動や遊戯室の効率的活用を工夫している。	
	2 職員配置数は適切であるか	○		基準以上の職員配置をしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		毎年、発達や特性に合わせたグループ編成を行い、それぞれのグループに適した環境を検討している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		必要な感染症対策は継続しながら、毎日、室内や玩具などの消毒や清掃を徹底し、清潔で安全な環境整備に努めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	△		職員がそれぞれに、いろいろな業務を担当している中で、作成済のマニュアルを見直したり、実施しながらの見直しに取り組んでいる。	PDCAサイクルに沿って、業務改善している部分があるものの多くはない。少しずつ職員も業務も幅を広げていけるよう取り組んでいく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	△		アンケートや直接伺った意向も含め、まだまだ十分とまではいかないものの、迅速な対応ができるように心がけている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		2018年度より、ホームページにて自己評価及び保護者向け評価を公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		2022年の第三者評価受審後から、指摘を受けたことについての改善点を委員会で検討しながら取り組みを進めている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修制度に沿って、法人内研修・オンライン研修・職場内研修などを実施し資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		グループによる保護者支援や併行通園先との連携訪問を行った。また、就学児については就学先との連携を行った。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		基本的には個々に応じた対応と、子どもさんの発達や特性の状況に応じ、個別や集団を工夫して実施している。感染症対策で実施しにくかった昨年度に比べると、少しずつグループ内で集団で活動できる機会も増えている。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	△		毎回ではないが、グループ内での振り返りや職員間での情報共有を行っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援の見直しや改善等につなげるためにも、毎回記録をとることを徹底している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		サービス担当者会議を開催したり、必要な場合には参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		定期であったり、必要に応じて連携を取り、支援に当たっている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就園、就学の際には、訪問や来訪を通して、情報の共通理解を図るように努めている。また、保護者の要望に応じて、就学支援シートなどを活用し移行支援を行った。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に合わせて、電話でのやり取りなど、支援に対する助言や連携を行うようにしている。連携会議などにも参加している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		できる限りの参加をしている。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者グループの開催とあわせて、個人懇談の実施や必要に応じて電話やメールなどで子どもさんの様子について保護者の方と相談、共有している。	できる限り保護者の要望に沿った相談の場を設け、やりとりができる機会を少しでも確保できるよう検討していきたい。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		実施できない期間があったが、定期的に保護者グループを開催し、子育ての悩みに対する支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	△		父母の会などの活動はないが、保護者グループによる保護者同士の連携を行った。	保護者グループについては、職員体制等により、十分な回数の実施ができないグループもあったため、次年度に向けて保護者の要望に合わせて実施、開催していく。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご意見箱の設置や意見、苦情があった際には迅速に対応するとともに、苦情受付書として報告をあげ、職員全体に周知している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページを活用し、お便りや写真、動画を配信し、取り組みを分かりやすく伝えられるように工夫している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		重要書類の取り扱いについて職員間で取り扱い手順を共有し、取り扱いや保管には十分注意している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		連絡帳、メール等でグループ形態に応じた工夫をしている。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種非常時マニュアル等の策定、文書での通知、必要に応じたメールでの緊急連絡を実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		午前グループを中心に通園児や保護者も交えた避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	△		ヒヤリハットにあたる事例については迅速に職員間で共通理解ができるようにしており、報告書の作成と共に少しずつ事例集の作成に取り組んでいる。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		共通認識を深めるため、職員研修を実施した。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		通園のしおりや支援計画書に記載し、保護者への説明を行っている。	